

瑞宝双光章  
危険業務従事者叙勲  
谷口義美さん(北本荘)



谷口さんは、伊丹警察署空港警備派出所長、城崎警察署長、交通機動隊長、網干警察署長などを歴任され、40年間の長きにわたり兵庫県警に奉職されました。その間、ハイジャック事件の封圧、空港テロの警戒・警備、阪神淡路大震災復興時に交通対策などの任務につかれたとのこと。現在、青色パトロールの防犯活動を行っておられ、今後は、今までの経験を生かしてできるだけ地域の力になりたいとお話されました。

バードウォッチングで自然再発見

2月26日、ため池や喜瀬川に飛来する野鳥の生態を学ぶバードウォッチングを開催しました。

大池・喜瀬川・大中遺跡公園・城池を巡るルートは短い距離ですが、湖沼、水辺、畑地、木など様々な自然環境に恵まれています。今年はマヒワやカワセミ、セグロカモメなどを含む32種類の野鳥を確認できました。

野鳥観察歴40年の立谷正樹先生から野鳥の見分け方や、鳴き声の特徴など丁寧に説明してもらい、参加者の皆さんも双眼鏡と図鑑をにらめっこして確認していました。



▲町内で目立つサギの仲間



拡大写真▶アオサギ

野鳥の鳴き声や姿を見て、目を澄まして、空や水辺を見て、耳を澄まして、近く近くに豊かな自然環境がありますよ。

播磨町自主防災組織合同研修会を開催しました

2月6日、三木市にある兵庫県広域防災センターで、防災意識の向上や防災技術の習得を目的とした播磨町自主防災組織合同研修会を開催しました。

研修会では、兵庫県広域防災センターの機能などについて説明を受け、その後学習ビデオを視聴しました。その後、煙避難体験、地震体験、簡易救出器具取扱訓練を行いました。参加者の皆さんからは、来年度以降も定期的な研修会の開催を望むご意見をいただきました。



▲熱心に説明に聴き入っていました

社団法人兵庫県建設業協会  
加印支部と  
災害協定を締結しました

2月8日、播磨町は社団法人兵庫県建設業協会加印支部と「災害時における応急対策等の協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、播磨町で災害が発生した場合、社団法人兵庫県建設業協会加印支部より、緊急人命救助や道路交通確保のための障害物の除去作業の協力を受けるものです。



楽屋裏

3月のはじめにも雪が降る寒さがあったため、今年の春は特別に待ち遠しいです。バードウォッチングのときには、大中遺跡公園の満開の梅にうきうきしました。そろそろサクラの開花時期が気になるころです。そのあとは、であいのみちのハナミズキも咲きます。フジの名所をめぐるツアーのお誘いも播磨ふれあいの家から届いています。

暖かく晴れた日には、春を探して、外をゆっくり歩いてみようと思います。(宮)

わんぱくはりまっ子



ふなびき みつき  
船引 洗希くん(1歳)  
西野 添

元気に育ってね。  
お父さんもお母さんも、みつきが大好きです  
(お父さんお母さんより)

播磨ふれあいの家  
だより



▶山陰随一の藤棚  
見学ツアー

全長500mにもおよぶ藤棚は圧巻!カメラはぜひ持参ください。たまりない情景です。

▼出発日 5月10日(火)、13日(金)

▼参加費 1人3,500円

▼コース 土山駅10:00→播磨町役場10:10→各コミセン→ふれあいの家12:00~13:00→大町藤公園13:45~14:30→但馬のまほろば(買物)15:00~15:30→各コミセン→播磨町役場→土山駅17:00

※参加費には昼食代、入場料などが含まれています。

播磨ふれあいの家より

▶予約・問合せ ☎079(678)1481

いいね!  
はりま

町政  
レポート  
No.51



▲春の火災予防啓発パレードの様子

早春の町内を、消防の春の火災予防啓発パレードで回りました。紅や白の梅が咲き乱れ、一足早い春を告げていました。3月は一年中で一番火災が多い月だそうです。各ご家庭における火災警報器の設置よろしくをお願いします。

◆現在、夕方になると5時には「ふれあいの歌」が、冬は6時(夏は7時)に「家路」の曲が町内に流れ、子どもたちに帰宅を促しています。今回、防災行政無線を更新するにあたり、「家路」を「ゆうやけこやけ」と「ふるさと」に変更します。時代からおきざりにされていきそうな唱歌や童謡が、少しでも子どもたちにとって馴染みがある曲になればと思っています。「ゆうやけこやけで陽が暮れて~山のお寺の鐘が鳴る~」私たちに思い浮かべられる情景を、今の子どもたちが脳裏に描くことはできるでしょうか。

◆播磨町中央公民館の館長、下垣俊子様が亡くなりました。厳しい闘病生活の中にも、決して希望を失わず、最後まで仕事復帰への強い意欲を持って、笑顔で頑張っておられたお姿が尊くさえ感じます。若い頃から、地域、サークル、公民館活動などにおいて、人一倍強い責任感とバイタリティで大きな貢献をされてこられました。残された足跡はこれからも未長く、多くの人々に引き継がれていくことと思います。最後まで果敢に自分の命と向き合った彼女の勇気と、数々のご功績に対し、心からの賛辞をおくります。安らかに…。

◆3月11日、東北地方太平洋沖地震において、未曾有の災害が発生いたしました。災害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、連日救助並びに災害復興に向けてご尽力されております皆さまに深く敬意を表します。播磨町としても、今後可能な限りのご支援をさせていただきますようお願いしております。

播磨町長 清水ひろ子